

アフリカチビネズミの飼い方

※この飼い方については、我が家での実践であって、標準的な飼育方法を保証するものではありません。

1. ケージ

アフリカチビネズミはとても小さなネズミです。金属ケージではなく、プラケースや衣装ケースで飼育します。また、ジャンプ力もあるので、ふたが必要です。

※天井は、チビネズミが脱走できない大きさの空気穴であることが必要です。

2. 床材と巣箱

ジャンガリアンハムスターの飼い方と、ほぼ同じイメージです。

おがくずを入れ、隠れ家となる巣箱を入れておきます。

巣がないと、繁殖する確率が低くなります。

逆に、巣が複数あれば、チビネズミが増えすぎることもあります。

3. エサと水

我が家の例ですが、エサ皿に以下のものを入れて、与えています。

①主食・・・小鳥の粒餌（むきえさ）

②副食・・・ハリネズミ用ペレット（＝雑食げっ歯類ペレット）

乾燥虫（乾燥コオロギ（「月夜野ファーム」のトッピングフレークか
乾燥ミズアブ）

水は、給水ボトルではなく、チビネズミが飲める高さの小さな平皿に、水を入れて与えます。

※注意！※

我が家では、爬虫類用のエサ皿を、エサ入れと水入れに使っています。

これらを置くときは、おがくず等の床材の上に置くのではなく、必ず床材をはらって、床に直接、置いてください。

床材の上に置くと、その下に潜って、お皿の重さでチビネズミが圧死します

4. 毎日の世話

夜行性なので、夕方にエサと水を与えます。朝、それらの容器を回収し、きれいにしておきます。昼間は何も与えませんが、我が家では特に問題は発生していません。

5. 大掃除

週に1度、チビネズミを別プラケースに移動させ、古い床材はすべて捨てて、ケージを丸洗いします。洗剤は使いません。

避難先のプラケースへ移すときと、ケージへ戻すときは、特に脱走されやすいので、細心の注意が必要です。チビネズミは大変すばやい生き物なので、ご注意ください。脱走されると、捕獲するのは、ほぼ無理です。

6. 飼育環境について

ハムスターやマウス等と同じ要領です。

ちなみに我が家では、他の動物もいるため、夏の昼間はエアコン26度設定、

冬は24度設定で1日中稼働しています。

なお、ネズミを捕食する動物とは、なるべく一緒の部屋で飼わないよう配慮してください。(特に過敏になることはないと思いますが…)

7. 繁殖について

オスとメスがいて、巣箱があれば、どんどん増えていきます。

出産前のメスは、急にお腹が大きくなります。

増やしたくないときは、オス・メスを早めに分けて、別々に飼育します。増えすぎた後では、手遅れになるのでご注意ください。

ちなみにオスは、お尻にフンに似た、黒い睾丸があります。なお、チビネズミはとてもすばしっこいので、生殖器をじっくり観察して雌雄判断するのは、とても困難です。

増えすぎるのが困る場合は、巣を撤去して様子を見てください。